

1. 各専門部会の活動状況等

① そうだん部会

活動状況
<ul style="list-style-type: none">・計画相談支援事業所・毎月開催予定（事業所間の連携の強化、課題・情報の共有、事例発表会）
課題・問題等
<ul style="list-style-type: none">・相談支援事業所の数が不足している中、事業所単体での報酬単価が低く、安定した経営が困難である。今後、相談支援事業所間で協定を締結することで、報酬単価の加算による給付費収入の増額、経験年数が少ない相談支援専門員に対しほかの事業所の職員からの適切な指導が可能となり、事業所の安定運営を目指す。・医療的ケア児に対応できる事業所が市内に無く、他市の事業所を利用している。・アフタースクールより放課後等デイサービスを利用する児童がいる。そのため、市内の放課後等デイサービスの多くが利用定員に達しており、新しい利用者の受け入れができない状態。療育と就業保障を分ける必要がある。・外国籍の児童の急増に伴い、言語支援や保護者とのコミュニケーションに困難が生じている。
要望等
相談員のスキルアップのため、講師を招いて研修会を実施したい。

② こども部会

活動状況
<ul style="list-style-type: none">・児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、保育所等訪問支援事業所・年4回開催予定（事業所間の連携の強化、課題・情報の共有）
課題・問題等
<ul style="list-style-type: none">・大きくなった子ども（18歳以降）の居場所づくりが必要。・アフタースクールより放課後等デイサービスを利用する児童がいる。そのため、市内の放課後等デイサービスの多くが利用定員に達しており、新しい利用者の受け入れができない状態。また、療育が必要な利用者に療育を提供できない状況である。療育と就業保障を分ける必要がある。・外国籍の児童の急増に伴い、言語支援や保護者とのコミュニケーションに困難が生じている。
要望等
家庭、学校、事業所との連携（トライアングルプロジェクト）のさらなる強化が必要。

③ しごと部会

活動状況
<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援、就労選択支援、地域活動支援センター ・年４回開催予定（事業所間の連携の強化、課題・情報の共有）
課題・問題等
<ul style="list-style-type: none"> ・就労選択支援についての目的等が、現場、学校、保護者に浸透していない。 ・就労選択支援のアセスメントに必要な評価の期間が北播磨圏域の申し合わせで５日間となっている。期間が短いため、目的に合ったサービス提供が難しい。
要望等
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意思決定を尊重する就労選択支援の周知とアセスメントに必要な評価の期間の延長。

④ せいかつ部会

活動状況
<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護、共同生活援助 ・年４回開催予定（事業所間の連携の強化、課題・情報の共有）
課題・問題等
<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム等の支援員の人材確保が困難である。夜間や休日の突発的なトラブル時に家族に連絡が取れない等、現場の負担が大きい。 ・虐待防止に関する厚労省のマニュアルや研修内容が厳しく、「少し待ってね」といった声掛けや、体調管理のため運動不足の利用者への運動の提案が「虐待（グレーゾーン）」と指摘されるため、現場の支援員が疲弊している。
要望等
<ul style="list-style-type: none"> ・現場の実態に即した「虐待防止」の対応についての研修。

2. 市から部会への要望

地域生活支援拠点整備に向けて、各部会長に協力を求めた。